

---

## 今月の視点－『地条鋼』とは何ですか？

経済調査部 齋藤 尚登

Q1 地条鋼とは何ですか？

A1 地条鋼とは、鉄スクラップなどを中周波誘導電気炉と呼ばれる電炉で溶かして製造した、成分や品質の安定しない、粗悪な鉄鋼・鋼材のことです。当初は地面に埋め込まれた簡易設備で製造されていたので「地」という文字が使われています。地条鋼の生産能力は2015年末時点で1億トン程度とされ、これは日本の粗鋼生産能力とほぼ同じです。

Q2 中国の鉄鋼の過剰生産能力はどの程度で、中国政府の削減計画はどうなっていますか？

A2 2015年末の粗鋼生産能力は11.3億トン（国家統計局）です。生産は8億トンですから、3億トン超が過剰生産能力です。中国政府は2016年以降の5年間で1億トン～1.5億トンを削減する計画でしたが、今年2月には3年～5年で1.4億トンの削減と、計画を修正しました。前倒しを視野に入れ、レンジの最大値に近い削減目標が提示されたこととなります。

Q3 地条鋼もその対象に含まれていますね？

A3 いいえ。地条鋼はそもそも違法で存在しないはずですから、生産統計にも削減計画にも含まれません。中国政府は、2016年に4,500万トンの生産能力を削減する計画を発表しましたが、地方政府と国有企業の削減計画の合計は9,000万トンに達していました。しかし、そのかなりの部分が地条鋼であり、当然、これを削減計画に含めることは許されませんでした。

Q4 違法な地条鋼の生産設備は閉鎖されないのですか？

A4 中国政府は閉鎖に真剣に取り組み、2017年6月末までに地条鋼を生産する工場・設備を全て閉鎖し、それを確認するための視察団を中央から送り込むとしています。

Q5 そうなると相当な規模の生産能力が削減されることになりますね？

A5 2016年の削減実績は6,500万トンとなり、2017年は5,000万トンを削減する計画です。これは地条鋼を除くベースです。さらに、2017年6月末までに1億トン分の地条鋼の設備が閉鎖されれば、実質的には2年間で2億トン以上が削減されることとなります。地条鋼は生産統計には含まれませんが、市場には出回っていますので、供給のタイト感が高まりました。

Q6 今後の過剰生産能力の削減について。

A6 中国鉄鋼工業協会によりますと、2016年に削減された生産能力のうち、75%は既に生産停止となっていた設備であったとのこと。2017年は身を切る削減が本格化し、従業員の解雇をはじめ削減の難しさは増していきます。既に乗用車販売に陰りが見られる中、今後は需要の半分を占める建設（住宅、インフラ）部門の減速が予想されるなど、当面の鉄鋼需要は抑制される可能性が高いとみています。ここでしっかりと過剰生産能力の削減を行わなければ、中国政府が目指す稼働率の引き上げ（2015年末の70%前後⇒2020年末に80%）は覚束なくなります。